

不法投棄は犯罪です

最近、ごみの不法投棄が増えています。テレビや冷蔵庫などの家電、ごみが入ったレジ袋などが捨てられていることが多く、土地の所有者が非常に困っています。

不法投棄は犯罪

不法投棄を行った者には、廃棄物処理法により「5年以下の懲役」か「1,000万円以下の罰金」か、あるいはその両方が科せられます。

自分の土地への不法投棄を防ぐ

不法投棄された廃棄物は、投棄した犯人が処分すべきですが、犯人の特定が非常に難しく、犯人が分からない場合、不法投棄された土地の所有者が処分することになってしまいます。

不法投棄されないよう、日頃から草刈り、清掃などを行い、所有地をきれいに管理しましょう。

不法投棄された物や不法投棄の現場を発見した場合は、役場環境保全課へご連絡ください。



ごみ分別大辞典

ごみ分別アプリの利用者数が約**5,600人!**となりました

町では、昨年1月にごみ分別アプリの導入を行いました。現在は、約5,600人の皆さんがアプリをダウンロードして、分別に協力してもらった結果、最近では違反ごみの量が減少しています。これからも違反ごみの減少や正しい分別ができるようアプリの活用をよろしくお願ひします。

ごみ分別アプリの紹介

- ・カレンダーでごみの種類別の収集日が確認できます。
- ・ごみ出し日を忘れないように、アラーム設定ができます。



インストールはこちら

二次元コードを読み込むか、アプリストアで検索してください。



連載「人権シリーズ」
輝く人権

●問い合わせ
役場人権推進課 人権推進係
☎096(293)0863

■人権を考えるみんなのつどいを開催
町では、人権が尊重されるまちづくり、男女共同参画のまちづくりを目的に、毎年人権週間に合わせて人権を考えるみんなのつどいを大津町女性の会、大津町人権・同和教育推進協議会と共同で開催しています。
今回は、12月3日に、町生涯学習センターで開催し、当日は約210名の参加がありました。

■男女共同参画フォトコンテスト
フォトコンテストには、25点の応募があり、入賞8点が選ばれました。つどい当日は、最優秀賞、優秀賞に選ばれた3組の表彰を行いました。入選作品は、町ホームページやおおづ図書館などに展示する予定です。

表彰者
最優秀賞 倭 夢乃さん(室)
優秀賞 木薮 貴子さん(森)
中島 秀樹さん(陣内)

■女性の会活動報告
今年度は、大津町女性の会の会員による活動報告として、コーラスグループ「エーデルワイス」による歌の披露、「更生保護女性会」による活動内容の報告がありました。

■人権講演会
大牟田市のこども家庭支援センターあまぎやまセンター長坂口 明夫さんを講師に、「困らせる子どもは困っている子ども」をテーマに講演を行いました。
坂口さんは、自身の生い立ちや経験を交えながら、子どもたちの健やかな成長に重要な接し方や子どもたちを取り巻く社会がどうあるべきかなどについて講演されました。参加者からは、「子どもたちの声をきく、選択させる、気づかせるということがとても重要だと思った」、「家庭での子どもとの向き合い方を考え直す機会になった」といった感想がありました。
なお、当日の様子は、1月15日までの期間限定で、オンラインで配信しています。町ホームページへ動画視聴用のリンクを掲載していますので、是非ご覧ください。

町ホームページはこちら▼

おおづのしごと

大津町企業連絡協議会

vol.39

株式会社東洋新薬

付加価値の高い商品を通して、世界の人々の「健康」と「美」に貢献する

健康食品・化粧品の総合受託メーカーです。商品企画から、処方開発、製造、配送、販売促進支援までトータルサポートいたします。研究開発にも注力しており、トクホ許可取得No.1、機能性表示食品の豊富な届出実績を有しています。熊本工場では、契約農家の皆さんが丹精込めて栽培した、大麦若葉などの「青汁」原料の1次加工をしています。

この1次加工した原料を使い、佐賀県鳥栖工場にて栄養がたっぷり、粉っぽさが少なく飲みやすい青汁を特許製法で製造しています。

これからも安心・安全かつ、付加価値の高い商品を製造し、「健康」と「美」に貢献できるように取り組んでまいります。

熊本工場

大麦若葉栽培

青汁原料の一次加工

【企業概要】

- 所在地(熊本工場) 高尾野272-5
- 業種 製造業
- 従業員数 1,301人(2022年9月末)
- 事業内容 健康食品・化粧品の受託製造、研究・開発
- 連絡先 【熊本工場】☎096(340)3555
- ホームページ <https://www.toyoshinyaku.co.jp/>

株式会社東洋新薬

くらべてみよう! クロッシングカルチャーズ vol.08

CROSSING CULTURES

Japan America

CIR(国際交流員) オースティン・ハインライン

オースティンが日本の文化とアメリカの文化を比較して紹介する「CROSSING CULTURES」コーナーの第7回は、アメリカの「正月の過ごし方」を紹介します。また、アメリカで使われていることわざも紹介します。ぜひ使ってみてください! Let's learn a "KOTOWAZA"!

Happy New Year! よいお年を!

アメリカの正月は、友人や家族と集まってパーティーを開き、みんなで新年を迎えます。大晦日のニューヨークでは、100年以上の歴史を持つイベント「ボールドロップ」が行なわれます。これは、大晦日の午後11時59分から0時にかけてワン・タイムズスクエアビルの上から巨大なクリスタルのボールが徐々に地上に降りて行きます。そしてカウントダウンが始まり、0時ちょうどになるとあたり一帯に紙吹雪が舞ってみんなで新年を祝います。恋人たちがその瞬間にキスをするのも恒例となっています。

アメリカでは新年の抱負を持つ人が多い。多くの人は減量して新たなスタートを切りたいと考え、ジムの会員数が増えるそうです。しかし、その多

くは1~2カ月で退会してしまうみたいです。

新年を迎え、アメリカ人は前年よりもより良い・強い・健康的な・賢い人間になるための目標を立てるのが好きです。私の令和5年の目標は日本語をもっと上手く話そうができるようになることです。

▲ニューヨークのハッピーニューイヤー

Let's learn a KOTOWAZA

オネスティイズザベストポリシー

英文 Honesty is the best policy.

訳 正直は最良の策 類語: 正直の頭に神宿る

意味 嘘やごまかしはその場しのぎであり、正直でいたほうが最終的にはうまく行くということ。